

鉄骨工事 Q&A	溶融亜鉛めっき	めっき溜まり	制定	2016年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. めっき溜まりが生じた場合の処理方法は？

A.

めっき溜まりと呼ばれる現象には、「亜鉛溜まり」と「亜鉛塊の付着」の二種類がありますが、ここでは、亜鉛溜まりについて解説します。

亜鉛溜まりの主な原因はめっき抜き孔※の位置や大きさが不適切であるために、溶融亜鉛の流れが悪いことが挙げられ、特に閉鎖型断面や袋状構造部位は生じやすく注意が必要です。

めっき溜まりは、めっきが過剰に厚く付着した状態であるので、耐食性や密着性には問題ありません。しかし、ボルト留め部や外観等の使用上問題がある場合は、グラインダ等で削るか、再めっきする必要があります。

再めっきを防止するためにも、事前に4者間(設計者、施工者、鉄骨製作会社、めっき会社)で協議して、対策をとる必要があります。



亜鉛溜まり



亜鉛塊の付着

※ めっき抜き孔：溶融亜鉛・空気流出入用の孔を指す